

2023年4月27日 人間科学研究科研究科委員会議事要旨

日 時 2023年4月27日(木) 13:35~14:17
場 所 ユメンスホール(207講義室)
出席者 渥美研究科長
青野、足立、荒牧、稲場、エツロット、遠藤、老松、太田、大谷、岡部、勝、鹿子木、
河森、川端、北山、吉川、木村(涼)、後藤、小林、近藤、権藤、斉藤、佐々木、澤村、
篠原、志水、白川、管生、杉田、園山、高田、高橋、玉城、千葉、辻、中井(宏)、
中井(好)、中野、西森、入野、野坂、野尻、野村、平井、福岡、藤川、藤目、三浦、
宮本、三好、村上、モハーチ、森川、森田(敦)、森田(邦)、安元、八十島、
山田(一)、山田(陽)、山中、山本(倫)、綿村、杉本(計64名)
欠席者 五十嵐、クロイドン、木村(友)(計3名)
海外渡航者等 岡田、鈴木(計2名)

[議事に先立ち、前回(3月16日)の議事要旨を確認した。]

(協議事項)

1. 大学院学生の異動について

資料1に基づき、大学院学生の異動について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 大学院学生に係る指導教員の変更について

資料2に基づき、指導教員の退職等やむを得ない事情により、大学院学生に係る指導教員の変更について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 大学院学生に係る学系の変更について

資料3に基づき、指導教員の異動等やむを得ない事情により、大学院学生に係る学系の変更について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 大学院学生の除籍について

資料4に基づき、大学院学則第33条(授業料を納入しない)による除籍となる2名について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 研究生の出願要項の変更について

資料5に基づき、教務委員会の開催日程が決定したことに伴い、未定となっていた各種日程について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、出願書類で、TOEFL-iBT又はIELTSのスコアレポートが学部、研究科とも同様である理由については、教務委員会で確認することとなった。

6. 令和6年度大学院学生募集要項(案)について

資料6-1~3に基づき、令和6年度大学院学生募集要項の主な変更点、大学院入学試験関係スケジュール、募集要項記載担当教員研究内容一覧について説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、各教員に確認した修正等を赤字で反映しているが、さらに修正等がある場合は、4月28日(金)中に教務係に申し出てくださいよう補足説明があった。

7. 令和6年度大学院入試における追試験について

資料7に基づき、令和6年度大学院入試における追試験について説明があり、審議の結果、これを承認した。

8. 「大阪大学大学院人間科学研究科課程博士学位論文審査取扱内規」に関する申合せについて

資料8に基づき、教授が理事・副学長に就任したことに伴い、本研究科の専任教授としての身分を喪失したため、本年4月1日から教授が定年退職するまでの期間（令和5年度～令和6年度）、大阪大学大学院人間科学研究科課程博士学位論文審査取扱内規第9条に基づき、特例として課程博士学位論文審査委員会の選出において、「本研究科専任教員」とみなす旨の申合せを作成することの説明があり、審議の結果、これを承認した。

9. その他

大学院学生の学位取得の件で、教務係での窓口対応に疑義があったことの報告があり、審議の結果、教務委員会で調査し、その結果を報告することとなった。

(報告事項)

1. 「大阪大学大学院人間科学研究科 大学院学生の指導教員及び副指導教員について」に関する申合せについて

資料9に基づき、教授が理事・副学長に就任したことに伴い、本研究科の専任教授としての身分を喪失し、新入生の指導教員となることが出来なくなったため、特例として、2023（令和5）年度入学生に限り、大学院学生の指導教員となることを認める旨の申合せを令和5年4月20日開催の教務委員会において定めた旨の報告があった。

2. 令和5年度大学院入学者数について

資料10に基づき、3月に報告した大学院入学者数について、その後、博士後期課程（一般入試）の「経験社会学」研究分野で1名増え、最終的には、博士前期課程96名、博士後期課程37名となった旨の報告があった。

3. 令和5年度マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラムの人間科学研究科履修許可者について

資料11に基づき、令和5年度マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラムについて、人間科学研究科学生の履修許可者が1プログラム5名の旨の報告があった。

4. 令和5年度マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム「人間科学（共生の生態）」の履修者について

資料12に基づき、令和5年度マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム「人間科学（共生の生態）」の履修者について報告があった。

5. 交換留学生（大学院）の受入れについて

資料13に基づき、交換留学生（大学院）の受入れについて報告があった。

6. その他

なし。

以上